

創立100周年記念 第74回日本生物工学会大会（2022）

創立100周年記念を迎えた記念すべき第74回日本生物工学会大会（2022）は、記念式典・授賞式・受賞講演・記念シンポジウムは千里ライフサイエンスセンターよりZoomライブ配信で、一般講演・シンポジウムはすべてオンラインで開催いたします。一般講演では、発表者は事前収録した動画ビデオを大会ホームページサイトにアップロードし、参加者は大会ホームページより事前に関覧したうえで、発表時間では所定のZoomルームにて討議を行います。なお、記念祝賀会は名古屋にて開催予定の第75回日本生物工学会大会（2023）において、対面で開催する予定です。

会 期 2022年10月17日（月）～10月20日（木）

会 場 <一般講演・シンポジウム・ランチタイムセミナー> Zoomによるオンライン形式

<創立100周年記念式典・授賞式・受賞講演・記念シンポジウム>

千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市）よりZoomライブ配信

<創立100周年記念祝賀会> 第75回日本生物工学会大会（2023）において対面にて実施予定

<展 示> WebおよびZoomによるオンライン形式

<懇親交流会> WebおよびZoomによるオンライン形式（大会HPにて告知します）

<若手会総会・交流会> 開催未定（大会HPにて告知します）

大会ホームページ <https://www.sbj.or.jp/2022/>

主なスケジュール

講演申込受付期間	2022年 5月25日（水）～2022年6月22日（水）正午
講演要旨提出締切日	2022年 7月22日（金）正午
事前参加登録締切日	2022年 8月31日（水）17時
講演要旨集 [PDF版] 発行日	2022年10月 3日（月）予定
事前発表動画閲覧期間	2022年10月11日（火）～2022年10月31日（月）

	10月17日（月）	10月18日（火）	10月19日（水）	10月20日（木）
午前	創立100周年記念式典 授賞式・受賞講演	一般講演	一般講演	一般講演
昼		ランチタイムセミナー	ランチタイムセミナー	ランチタイムセミナー
午後	授賞式・100周年記念 シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム
夜		懇親交流会	若手会総会・交流会 （予定）	

参加費

会員種別	大会参加費	
	事前	当日
正会員	10,000円	12,000円
学生会員	6,000円	8,000円
非会員	16,000円	20,000円

（消費税を含む。ただし、正会員・学生会員の参加費は不課税。大会参加費は講演要旨集 [PDF版] 代を含む。）

講演要旨集（冊子体） 講演要旨集（冊子体）は、希望者には別途販売いたします（会員：4,000円、非会員：5,000円 ※送料・税込）。ただし、発送は大会終了後になることをご承知おきください。

参加申込 大会HPの参加申込画面（<https://www.sbj.or.jp/2022/registration>）にて登録をお願いします。お支払いは①カード決済、②コンビニ決済、③銀行振込（手数料自己負担）が選択できます。

懇親交流会 WebおよびZoomによるオンライン形式にて2022年10月18日（火）開催。

開催の詳細は大会HPをご覧ください。

ランチタイムセミナー 2022年10月18日（火）・19日（水）・20日（木）の昼休憩を利用して開催します。詳細は大会HPをご覧ください。

各種会議 大会期間中に会議を開催予定の方は、大会実行委員会事務局までお問い合わせください（ご希望に沿えない場合もあります）。

<申込締切日>2022年8月19日（金）

大会実行委員会事務局 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1

大阪大学工学部内 公益社団法人日本生物工学会 日本生物工学会第74回大会実行委員会

<問合せ先>実行委員会・庶務担当 大阪大学 松田史生 E-mail: sbj-100-contact@bio.eng.osaka-u.ac.jp

シンポジウム課題およびオーガナイザー

演者などの詳細は後日大会HPに掲載しますのでご覧ください。

- 1. 100周年記念シンポジウム 生物工学の未来（2050年）第1回【本部企画】※ハイブリッド開催**
青柳秀紀（筑波大）・本多裕之（名大）・上平正道（九大）・竹山春子（早稲田大）・吉野知子（農工大）
章 超（霧島酒造）
- 2. 若手とシニアで語る生物工学の未来【本部企画・生物工学若手研究者の集い】**
青木 航（京大）・蟹江 慧（近畿大）・曾宮正晴（阪大）・三浦夏子（大阪公大）・中島一紀（北大）
徳山健斗（中外製薬）
- 3. 若手研究者のこれからの「活躍の場」を語ろう【本部企画・生物工学若手研究者の集い】**
青木 航（京大）・蟹江 慧（近畿大）・曾宮正晴（阪大）・三浦夏子（大阪公大）・中島一紀（北大）
徳山健斗（中外製薬）
- 4. 産学連携シンポジウム（培養・計測）【本部企画】**
児島宏之（味の素）
- 5. 未来産業の創造に向けた産学官連携プラットフォーム【本部企画】**
林 圭（三和酒類）
- 6. 科学者のWell-beingのための志向倫理【本部企画】**
石井正治（東大）・片倉啓雄（関西大）
- 7. 健康長寿に貢献するこれからの醸造発酵技術【本部企画】**
赤尾 健（酒類総研）・章 超（霧島酒造）・秦 洋二（月桂冠）
- 8. 生物工学会英文誌JBBのあゆみとこれから【本部企画・国際シンポジウム】**
神谷典穂（九大）
- 9. KSBB-BEST-SBJ ジョイントシンポジウム【本部企画・国際シンポジウム】**
藤山和仁（阪大）
- 10. アジアにおけるバイオプロダクションの現状と未来 ～SDGsの達成を目指して～**
【国際シンポジウム・関西支部】
大橋貴生（摂南大）・石井 純（神戸大）

11. ゲノム編集食品の未来を語り合う～技術から法規制, 実用化事例まで～【関西支部】
柴田裕介 (菊正宗)・岡野憲司 (関西大)
12. 光スイッチ型海洋分解性の可食プラスチックの開発研究
金子達雄 (北陸先端大)・川口秀夫 (神戸大)・加藤太郎 (鹿児島大)
13. 最先端の代謝研究が解き明かす解糖系の深淵—Otto Meyerhof ノーベル賞受賞 100 周年によせて—
渡辺大輔 (奈良先端大)・三浦夏子 (大阪公大)
14. 植物由来のバイオプロダクションの新潮流
岡澤敦司 (大阪公大)・田口悟朗 (信州大)
15. バイオエコノミーに資するバイオ×デジタル融合型の次世代研究プラットフォームの創出
近藤昭彦 (神戸大)・蓮沼誠久 (神戸大)
16. 加速する次世代抗体の実用化に向けた取り組み
上平正道 (九大)・大政健史 (阪大)
17. 高度に生体を模倣した細胞培養技術「Microphysiological System (MPS)」が拓く未来社会
清水一憲 (名大)・堀江正信 (京大)
18. シンポストバイオの潮流～腸内代謝物の有益性と商品化
松山彰収 (ダイセル)
19. 持続発展可能な未来社会を創造するバイオプラスチックの最前線
笠井大輔 (長岡技科大)・福居俊昭 (東工大)・本田孝祐 (阪大)
20. 生体分子の相互作用における曖昧さの意義
堀 克敏 (名大)・高木昌宏 (北陸先端大)・中村 史 (産総研)
21. 生物工学が拓く未培養微生物 (微生物ダークマター) の未来
青柳秀紀 (筑波大)・堀之内貴明 (産総研)
22. 先端バイオ分析の新潮流
座古 保 (愛媛大)・上田 宏 (東工大)・梅野大輔 (早稲田大)
23. グローバルバイオで達成するカーボンニュートラル
古賀雄一 (岡山理大)・河原崎泰昌 (静岡県大)・仲嶋 翼 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

講演申込と要旨提出について

講演申込期間

2022年5月25日(水)～6月22日(水) 正午(締切厳守)

要旨登録期間

2022年7月4日(月)～7月22日(金) 正午(締切厳守)

事前発表動画登録期間

2022年8月1日(月)～9月9日(金) 正午(締切厳守)

申込資格 一般講演の発表者は2022年会費既納の本会正会員または学生会員に限ります(1人1演題のみ)。講演申込には発表者の会員番号が必須となり、会員番号がない場合には登録できません。必ず事前に入会手続きをお願いします。会員番号は入会登録と会費の入金確認ができ次第お知らせしますが、1週間程度かかりますので早めの手続きをお願いします。入会はHP「入会案内」<https://www.sbj.or.jp/join/>よりできます。なお、会員番号が不明の場合は、事務局 (info@sbj.or.jp) にお問い合わせください。

発表形式 発表のスライド言語は英語を基本として作成してください。 本年度の一般講演・シンポジウムはZoomによるオンライン形式で行います。

一般講演では、会期に先立って所定の方法により発表を収録した動画ビデオをアップロードいただき、参加者には大会HPより閲覧できるようにいたします。講演時間は1題につき、12分の予定です。プレゼンテーション用のスライドのサイズ（横と縦の比）は4：3で作成してください。また、原則として、少なくとも18ポイント、できれば24ポイント以上の文字サイズの使用を推奨します。文章・図表は、緑と赤の区別の難しい人がおられることを考慮して、この色の組合せは極力避けてください。プログラムでの発表時間に講演者は、所定のZoomルームに入ってください、参加者に内容説明と討議を行います。

シンポジウムでは、講演者にライブで発表いただきます。講演時間は、プログラムあるいはシンポジウムオーガナイザーにご確認ください。プレゼンテーションスライドの作成は、上記に従ってください。

申込・講演登録方法

昨年同様、講演申込と要旨登録の期間を分けての登録となります。締切後は、理由の如何を問わず、新規申込み、要旨を含む内容修正はできません。締切前はアクセスが集中し、申し込みできない場合がありますので、早めの申込みをお願いします。なお、講演申込後、要旨の登録がない等、内容に不備がある場合は、講演受付を取り消すことがあります。講演申込・要旨の登録システムに関して不明な点は株式会社ダイナコム (sbj2022@dynacom.co.jp) > にお問い合わせください。

講演申込期間 2022年5月25日（水）～6月22日（水）正午まで。

以下の手順に従ってお申し込みください。

- ① まず、<参加申込>画面で参加申込を行ってください。折り返し「参加申込番号ID（ID:例E0001）」と「パスワード」が送付されます。
- ② 次に、<講演申込>画面で「参加申込番号ID」と「パスワード」でログインし、下記の注意事項を参考に講演内容の登録をしてください。講演申し込み時には200文字以内の発表概要の入力をお願いします。
- ③ 講演内容の登録が完了すると、画面に「受付番号」が表示されます。受付番号は必ず記録、保存をお願いします。トラブル発生時の問合せに必要となります。

要旨登録期間 2022年7月4日（月）～7月22日（金）正午まで。

- ④ 登録サイトにログインして要旨本文を入力してください。

講演申込み・要旨入力画面での諸注意 ※入力の際には画面の注意事項をよくお読みください。

■**文字数** タイトルは、全角100文字（半角200文字）、著者名および所属略称は全角200文字（半角400文字）、発表概要は全角200文字（半角400文字）以内に収めてください（スペース含む）。著者名は、必ず個人名（フルネーム）を記入してください（団体名等は受け付けません）。日本語で発表する場合は、タイトル、著者名、所属略称の英語表記が必要です。入力フォームの表示に従って文字数をご確認ください。要旨本文は全角770文字（半角1540文字）以内に収めてください。

■**所属略称** 英文・和文ともに紛らわしくない限り短い省略形とし、1) 大学院→院、2) 大学院しかない場合は院も省略（例：奈良先端大・バイオ）、3) センター→セ、4) 研究所→研、5) 市立、府立、県立の「立」は削除、6) 企業の場合、（株）は不要、7) Graduate School of Biotechnology→Grad. Sch. Biotechnol.、8) 通称がある場合は使用（例：ICBiotech.）。

■**分類コード** 第1、第2希望ともに選択してください。どうしても第2希望で該当するものがない場合には、第1希望と同じものを選択してください。

■**キーワード** キーワード欄の横ボタンで一覧表が表示されますので選択してください。一覧表にない場合は、手動で入力ください。途中で空欄を作らないように上から順番に英語で、1つは必須で4つまで可能です。

■**大会トピックス公開の希望** 本会では、年次大会を優れた研究成果や産学官の会員の貴重なシーズの公開の場と

位置づけ、将来性や実用化が期待される講演発表についてマスコミ等の報道により研究成果やシーズを広く公開していく方針です。シーズ等公開の希望、取材対応の可否、アピール点をご申告ください。「大会トピックス公開の希望」でYesに付けられた発表から、実行委員会において30題程度のトピックスを選定し、全国TLO、バイオビジネスシーズに関心のある団体等に公表する予定です。大会トピックスに選定された演題については、以下の対応を行っていただくことになります。

- ・大会実行委員の選定による「トピックス集」への原稿作成
- ・本会大会前に実施する記者発表会における研究内容の公開
- ・新聞社等のマスコミからの問合せや取材への対応

また、大会トピックスの中から複数の演題を「トピックス賞」として選定し、大会実行委員長名で表彰します。

■備考（通信欄）発表者が20人を超える場合や氏名の漢字など、印刷時の希望事項などをお書きください。文字数は全角200文字以内でお願いします。なお、最終的には大会実行委員会の判断で、ご希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。

分類コード

技 術 分 野	
分 野	第一希望・第二希望の選択項目
遺伝学, 分子生物学および遺伝子工学	1 分類, 系統, 遺伝学 2 遺伝子工学
酵素学, タンパク質工学および酵素工学	3 酵素学, 酵素工学 4 タンパク質工学 5 抗体工学
代謝生理学・発酵生産	6 発酵生理学, 発酵工学 7 代謝工学 8 オミクス解析
醸造・食品工学	9 醸造学, 醸造工学 10 食品科学, 食品工学
環境バイオテクノロジー	11 環境浄化, 修復, 保全技術 12 環境工学, 廃水処理技術 13 バイオマス, 資源, エネルギー工学
生物化学工学	14 生物化学工学 15 培養工学 16 バイオプロセス
植物バイオテクノロジー	17 植物細胞工学, 組織培養, 育種工学
動物バイオテクノロジー	18 生体医用工学 19 セル&ティッシュエンジニアリング
バイオ情報工学	20 生体情報工学, バイオインフォマティクス 21 システムバイオロジー
分析計測化学	22 バイオセンシング, 分析化学 23 センサー, 計測工学
生体関連化学	24 生合成, 天然物化学 25 有機化学, 高分子化学
生体分子工学	26 核酸工学 27 ペプチド工学 28 脂質工学 29 糖鎖工学

参加費支払い方法

大会参加費のお支払いは、①カード決済、②コンビニ決済、③銀行振込（手数料自己負担）から選べます。手順は以下の通りです。

- 1) 参加申込画面にて登録を行い、支払い方法を選択してください。会員番号は会誌送付ラベルをご参照ください。
- 2) 参加申込番号とパスワードが掲載された確認メールが届きます。
- 3) カード決済とコンビニ決済は、確認メールに記載のURLから決済画面に進み、参加申込番号とパスワードでログインしてください。銀行振込を選択された方は、メールに記載された口座にお振り込みください。

※紛失等による領収証の再発行はいたしません。

※振込票は送付されません。

※要旨集（冊子体）の申込みも参加申込画面にて受け付けます（発送は大会終了後となります）。